

## 2010年4月1日～2021年3月31日の間に 当科において消化管異物の治療を受けられた方及びご家族の方へ

### 「当院で経験した消化管異物の臨床的検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院消化器外科          シニアレジデント 峯田 修明

#### 1. 研究の概要

消化管異物は摘出が容易な場合や自然排泄が期待できる症例が多いが、時として消化管穿孔などの合併症を引き起こすことがあります。当院で経験した消化管異物の臨床的検討を行い、今後の治療方針に役立てていきます。

#### 2. 研究の方法

##### 1) 研究対象者

2010年4月1日～2021年3月31日の間に川崎医科大学附属病院において消化管異物の治療を受けられた方を研究対象とします。

##### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

##### 3) 研究方法

2010年4月1日～2021年3月31日までの間に消化管異物と診断された患者で、研究者が診療情報をもとに治療成績について調べます。

##### 4) 使用する情報の種類

年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

##### 5) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文

で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年3月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 消化器外科

氏名：峯田 修明

電話：086-462-1111 内線 26503（平日：9時00分～17時00分）

E-mail：[mineta.0427@med.kawasaki-m.ac.jp](mailto:mineta.0427@med.kawasaki-m.ac.jp)

#### 3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。